

学級活動（健康教育） 学習指導案

喬木第二小学校 4年生 男子4名 女子5名 計9名

授業者 担任 ** *

養護教諭 安富和子

1. 主題 「自分のおやつを調べよう」～かみかみセンサーを使って～
2. 主眼 少しずつかむことの大切さを理解してきている子ども達が、おやつのかむ回数をかみかみセンサーを使って調べたり、新たなかむことの効用についてお話を聞いたりする活動を通して、かみごたえのあるおやつを選ぶこともおやつ選びの基準の一つにする。

3. 展開

段階	学習活動	児童の反応	支援・評価(◎)	時	資料等
はじめ	1. かむことの大切さについて振り返る	《T：よくかむとどんないいことがあったかな？》 ・よくかむと記憶力がよくなったなあ ・かむ力は握力と関係があったなあ	○記憶力や握力とかむことの関連、よくかむことの効果を想起させる。	5	・「ひみこのはが いーぜ」
なか	2. おやつのかむ回数を測定する(自分の好きなおやつとかみごたえのあるおやつ)	学習問題 自分のおやつ選びを考えよう ・チョコは口の中ですぐとけちゃちゃって回数が少ないよ。 ・スナック菓子は口の中が油っこい気がした。 ・ぼくのおやつは全部回数が少ないぞ ・おせんべいはやっぱりかみごたえがあるなあ ・するめはよくかんでいるとつばがたくさん出る気がする ・大豆はよくかんでいるとおいしい気がする	○無理してたくさん回数をかまないようにさせる ○かんだ回数と時間、気が付いたことを記録させる ○自分のおやつと学校で用意したおやつを比べて気づいたことも考えさせる	15	かみかみセンサー 学習カード
か	3. 自分のおやつ選びを振り返る	T：持ってきたおやつのパッケージをかたい物とやわらかい物に黒板に分けて貼って下さい。 ・みんなの好きな物はやわらかい物が多いなあ ・学校で用意してもらったおやつはかみごたえがあるなあ	○黒板を見て好きなおやつにはやわらかい物が多いことを気づかせる ○好きなおやつにはやわらかい物が多いこと、かみごたえがある物は回数もたくさんであることに気づかせる	10	おやつのパッケージ 資料
	4. かむことの効用について(かむ力、肥満予防)知る	T：よくかむことの大切さについての説明(養護教諭) ・よくかめばかむ力が強くなるんだな ・かむことは元気につながるんだな	○よくかむこととかむ力、肥満予防との関連について資料をもとに説明する。	5	
おわり	5. 自分のおやつ選びを振り返る	・かたい物もおやつに食べるようにしたいな ・かみごたえのあるおやつも買ってもらうようにしよう	◎自分のおやつ選びを振り返り、かみごたえのある物も選ぼうという気持ちが持てたか。	10	